




平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【京都市】

1 実践テーマ	【 I・II 】
2 実施対象者	京都市立大藪小学校 5年生児童 教職員 (1組・2組計70名・育成学級児童1名)
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (○総合的な学習の時間) ② 行事名 () ③ その他 (○人権月間の取組) (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	寒川進さん(オムロン京都太陽所属, アテネパラリンピック出場)の講演を聞くことで, 自分の個性について考えたり, 障害者との共生社会について考えたりする機会とし, 自己肯定感の醸成や将来展望の一助とする。
5 取組内容	<p>○「支え合って生きる」をテーマに, 5年生は, 「総合的な学習の時間」を進めている。(長期宿泊学習やスチューデントシティ, 新1年生をお迎えする活動等)</p> <p>○寒川進さんの講演を聞く (足の障害にどのように向き合ったのか, 車いす陸上競技との出会い, パラリンピックでのレースや裏話など)</p> <p>○パラリンピックで獲得された銅メダルを手にとらせてもらったり, 陸上競技用の車いすを触らせてもらったりする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>○振り返りをするとともに, その後の「総合的な学習の時間」での学習に生かしたり, 人権月間の取組とつなげたりする。</p> 

6 主な成果	<p>○子どもたちは目標に向かって努力し続けることの素晴らしさや、どんなことにも前向きに捉えていくことの大切さを学ぶことができた。</p> <p>○パラリンピックでのレースや裏話、テレビで見るような縁遠い出来事を聞いたり、パラリンピックで獲得された銅メダルを手にとらせてもらったりして、オリンピックやパラリンピックを身近に感じることができた。</p> <p>○寒川さんが普段の生活で使っている車いすと、競技用の車いすに実際に触れることができ、子どもたちにとっての新たな知識となった。</p> <p>○総合的な学習の時間の内容とも関連付けながら、障害のある人と支え合いながら生きていくことや自分の将来を見つめ直すきっかけとなった。</p>
7実践において工夫した点 (事業の特色)	<p>○地元京都出身で、世界的に活躍され、「京都スポーツの殿堂」にも選ばれているトップアスリートの寒川進さんと出会い、お話をさせていただいた経験は、今後の子どもたちや教職員のオリンピック・パラリンピック、障害のある人との共存社会に関する興味や関心につながると考えられる。</p> <p>○寒川さんは、講演当日、車に乗って一人で来られ、準備なども殆ど一人で進められた。そのような様子も、子どもたちや教職員に伝え、考える機会とした。</p>
8主な課題等	<p>○カリキュラム・マネジメントの視点で、どの学年で、どのような教科や活動とつなげていくのか。1日だけの学習で終わらないように、「学び」や「経験」をつなげていく必要があると感じた。</p> <p>○せっかくの貴重な機会だったので、保護者に呼び掛けたりするなどして、もう少し多くの方が、講演を聞けるようにすべきだった。</p>
9来年度以降の実施予定	<p>○来年度も、寒川さんに来ていただけるのであれば、そのような機会を設け、カリキュラム・マネジメントの視点で、様々な学年・教科等とのつながりを意識しながら、学習を深められるようにしたい。</p> <p>○図書館のオリンピック・パラリンピック関連の書籍の充実を図ったり、校内の廊下や掲示板などで、オリンピック・パラリンピック関連の掲示を工夫したりするなどして、子どもたちの興味や関心が高まるようにしたい。</p>